

市長定例記者会見報告事項概要(3月)

令和3年3月26日(金)午前11時～

1. 新型コロナウイルスワクチン接種における集団接種の模擬演習について

- 本市では、2月1日にワクチン接種対策室を設置し、3月1日にはワクチンの予約・相談センターを開設して15日から相談に応じている。
- こうした状況の中、3月28日(日)午後2時から、ワクチンの集団接種のメイン会場となります、JA山口県防府とくち統括本部において、防府医師会、防府市老人クラブ連合会等の各関係団体のご協力をいただき、「新型コロナウイルスワクチン集団接種模擬演習」を実施する。
- 演習では、集団接種会場における受付から予診、ワクチン接種、接種後の健康観察終了までの一連の役割や動線等の確認、更に、接種後のアレルギー反応症状の発生を想定した対応など、様々な状況を想定し、実施したいと考えている。
- この演習で課題等を洗い出し、集団接種の本番実施時に向けて、市民の皆様が安心して迅速に接種が受けられる体制を整備することとしている。
- ワクチン接種については、引き続き防府医師会と連携を密にしていく必要があるため、今年度で退職する健康福祉部次長を新型コロナウイルス担当参与として引き続き配置して体制を強化し、一人でも多くの方にワクチンを接種いただけるよう、取り組んでいく。
- 現時点での模擬演習後の予定は次のとおり。
 - ・ 3月31日(水)に65歳以上の高齢者の方へ接種券を発送。
 - ・ 4月第2週(12日～)から、高齢者への先行接種を開始。
 - ・ 5月10日(月)から、高齢者への集団接種を集団接種会場などで開始し、その後、順次、医療機関での個別接種を開始。

- ・ 5月10日からの集団接種の予約については、4月26日（月）から受付を開始する予定。
- 今後変更を生じた場合は、改めてお知らせする。

2. 河川等防災監視カメラ画像のウェブ提供の開始について

- 4月1日（木）から、「防府市河川等防災監視カメラシステム」による河川監視カメラ画像のウェブサイトでの提供を開始する。
- このシステムの導入により、国・県・市が既に情報提供しているカメラ画像や水位情報を含め、計64か所の情報が一斉に見られるようになる。
- こうしたことを通じ、市民の皆さまの安全・安心に繋げていきたい。
- 市民の皆さまにしっかりと見ていただきたいと考えている。

3. 市道新橋牟礼線の部分開通について

- 市道新橋牟礼線の第1期区間（牟礼柳～酢貝）の410mが完成し、3月31日（水）午前10時に開通する。
- 今後は、第5次総合計画にも掲げている第2期区間（酢貝～多々良二丁目）の事業を進めていきたいと考えている。

4. 幸せますウィーク期間中のイベントについて

- 本市では、春の大型連休及び防府天満宮大石段花回廊展示期間を「幸せますウィーク」として展開している。
- 毎年恒例となった防府天満宮の花回廊が今年も防府の春の風景を彩るので、期待していただきたい。
- 現在、実施に向けて準備中の花回廊実行委員会は、去る3月3日、中国運輸局から「中国地方観光振興アワード」を受賞された。

- 私も市長就任以来、毎年花鉢並べに参加し、実行委員会の皆さまや、趣旨に賛同されたボランティアの皆さまが、心を一つにして本市の「すごいぞ！」を創り上げられるお姿に毎回感動し勇気を頂戴しており、関係者の皆さま方に心より敬意を表したい。
- 今年も、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、4月14日から5月15日まで展示されるので、市民の皆さまには、今年のデザインはどうなるのか、楽しみにお待ちしております。
- その他の「幸せますウィーク」期間中のイベントについても、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じながら展開していきたい。

5. 令和3年度の組織機構の見直し及び人事異動について

- 第5次総合計画初年度となる令和3年度に向け、組織の見直しを行った。
- 見直しの大きなポイントとしては4点。
- 1点目として、デジタル化を推進するため、総合政策部内に新たにデジタル推進課を設置する。
- 専任職員12名、デジタル戦略監をはじめとする兼務職員を含め39名体制とする。
- マイナンバーカードの普及に取り組むとともに、国や県と連携しながらデジタル化を進めていきたい。
- 2点目として、新型コロナウイルスワクチン接種対策室を強化する。
- 今年度末で退職する工藤 現健康福祉部次長を担当参与として引き続き配置し、医師会等としっかりと連携を図りながら進めていきたい。
- 3点目として、第5次総合計画に掲げる新たな道路網構築を目指すため、道路課内に道路防災基盤整備推進室を新たに設置する。
- 華城小学校周辺道路などの幹線道路整備や、佐波川右岸地域の防災公園

整備を進め、防災拠点や医療拠点などをつなぐ幹線道路ネットワークの構築を目指す。

- 専任職員 8 名に、参与・課長・兼務職員を含めて 15 名体制とする。
- 参与には、今年度末で退職する友景 現土木都市建設部長を配置する。
- 4 点目として、公民館機能を強化するため、組織体制を整える。
- コロナ禍の中、各公民館機能の強化が大きな課題となっており、補正予算で措置したタブレット端末の活用によるオンライン相談を開始した。
- 公民館機能をさらに強化するため、まずは小野・富海・大道地域の公民館をモデル公民館として元部長級職の常勤館長を、さらに富海・大道公民館には主任級の正職員を配置する。
- これを実効的に進めるため、新たに地域交流部に公民館機能強化担当の参与として原田 現生活環境部長を配置する。
- 公民館機能の強化を含め、自治会活動の支援や公共交通サービスの確保などを担当する地域振興課を地域交流部に新たに設置する。
- 今年度末で多くの部長級職員が退職する中で、令和 3 年度の人事については熟慮を重ね、部長・部次長・組織全体として考えられる最高の体制ができたと考えている。
- 総務部長には、既に 3 つの部の部長を経験している熊野 現産業振興部長をあて、市役所組織全体におけるリーダーシップの発揮を期待している。
- 令和 3 年度は第 5 次総合計画の初年度となる。
- 総合計画を着実に推進するため、総合政策部長には、まちづくりの中心となる庁舎建設を担当している石丸 現総務部理事をあてる。
- 各地域や関係団体とのつながりが多い地域交流部長には、能野 現教育部長をあて、その調整能力に期待している。
- 市民生活に密着する生活環境部長には、地域の実態をよく知っている、

経験豊富な入江 現土木都市建設部理事をあてる。

- まちづくりを大きく進めなければならない中で、産業振興部長には、白井 現総務部次長をあて、その突破力・推進力に期待している。
- 土木都市建設部長には、石光 現土木都市建設部次長をあて、総合計画に掲げる道路等のインフラ整備にしっかり取り組んでもらうことにしている。
- 会計管理者には、現在抱えている課題の解決に向けて適任と判断し、寺畑 現地域交流部次長をあてる。
- 教育部長には、江山教育長とスクラムを組んで、元気な防府の小中学生を育ててもらいたいとの思いを込め、杉江 現総合政策部次長をあてる。
- 部長・部次長職は減らしたものの、多岐にわたる業務をしっかりと推進し、また、組織を管理するため、将来の管理職候補としての経験を多くの職員に積んでいただきたいとの思いから、課長補佐級の職員を増やした。
- 同時に、女性の課長補佐級職員数は、現在の20名から29名へと大幅に増やした。
- 新規採用の若手職員については、若いうちに多くの職場を経験していただきたいとの思いから、基準を設け、3年以内で異動をおこなった。
- 第5次総合計画初年度ということで、過半数、過去10年で最大となる493名の異動をかけているが、職員には希望を新たにしてスタートを切っていただきたい。